

## SPERC 農林水産ロボティクス研究グループ講演会

### 「リハビリテーションと工学による障がい者生活支援」

SPERC 農林水産ロボティクス研究グループでは、7月2日（月）に岩手医科大学の高梨信之先生をお招きし、「リハビリテーションと工学による障がい者生活支援」と題した講演会を開催いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

グループ長 三好 扶

■日時 平成 30 年 7 月 2 日（月）13：00-14：30

■会場 銀河ホール

■主催 SPERC 農林水産ロボティクス研究グループ

■講師 岩手医科大学附属病院 リハビリテーション部 作業療法士

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 臨床研究・疫学研究部門

高梨 信之 先生

#### ■概要

日本の保健課題や疾病対策、障がい者を取り巻く環境は刻々と変化しているが、同時にテクノロジーの発展することによって、心や体に障がいのため従来不可能と思われた行為が「自分でできる」ようになる可能性が増えてきている。障がいをもつ、またはご高齢の方々の生活支援にとって、人と人のつながり以外にも、「工学的な支援」の重要性がますます大きくなっている。障がいの程度や生活のしにくさは千差万別ではあるが、障がいの当事者や障がい者児を支える人のニーズ、「ものづくり」をする人のシーズがお互いの特徴を知り、お互いをうまく活用していくことで、あらゆる人の生活の質（QOL）は著しく向上していくであろう。今回の講演では、実際にあらゆる機器を活用して生活をしている方の様子、コミュニケーションや生きがい作り、介護ロボットの利活用を中心に障がい者生活支援を考える。

#### ■講師略歴

平成 10 年より急性期・回復期・生活期・終末期の患者様のリハビリテーションに従事。老人保健施設、訪問・通所リハビリ、障がい児施設等の開設や障がい者支援などに携わる。平成 26 年より岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構に入職し、東日本大震災被災地での研究事業を通じた被災地支援、また故郷である陸前高田市の高齢者介護予防等、地域にお住まいの方々の保健事業に取り組む。現在、岩手医科大学附属病院における作業療法士業務と、地域保健の推進を併任し、日々県内地域を駆け回っている。

#### ■問い合わせ先（世話人）

機械科学コース 佐々木 誠

makotosa@iwate-u.ac.jp